

# 東京湾海況情報 20-04

東京湾水質調査結果（平成20年7月分）

平成20年7月31日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp)

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査(内湾：7/22(わかふさ)、内房：7/22(ふさみ丸))

データ提供：神奈川県水産技術センター、東京都環境局

資料参照：関東・東海海況速報、湾口海況図、漁海況旬報

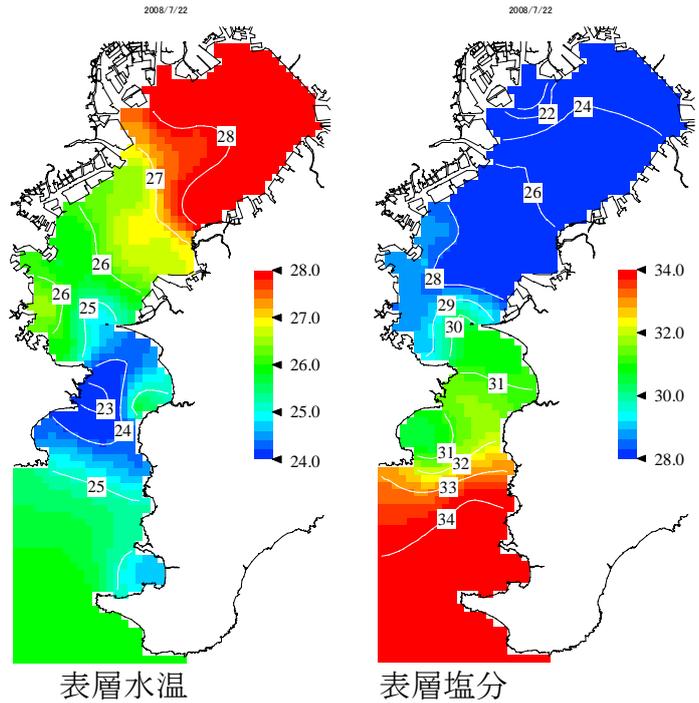
## 水温・塩分(図1~3、表1)

(表層)

観測日が遅れたため8月の平年値に近い状態でした。水温は、内湾で北部から南部に向かって低くなり、内房では湾口部に向かうほど高くなっていました。塩分は、内湾北部から中央部にかけて26を下回る低塩分水塊に覆われ、内房北部まで31を下回る状況でした。

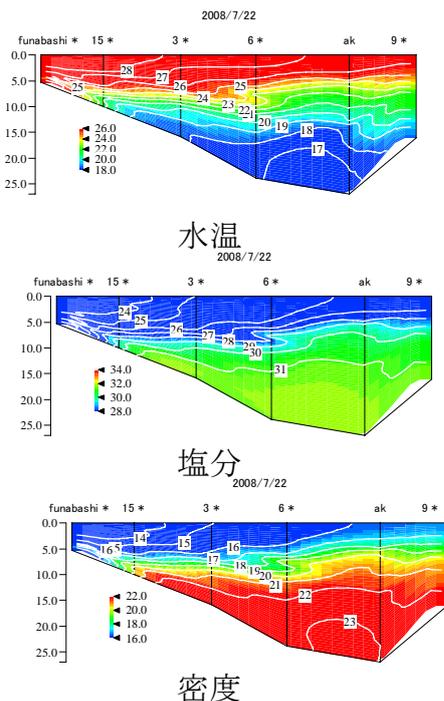
(底層)

内湾では、水温、塩分ともに表層との差が拡大し、成層が形成されていました。



表層水温

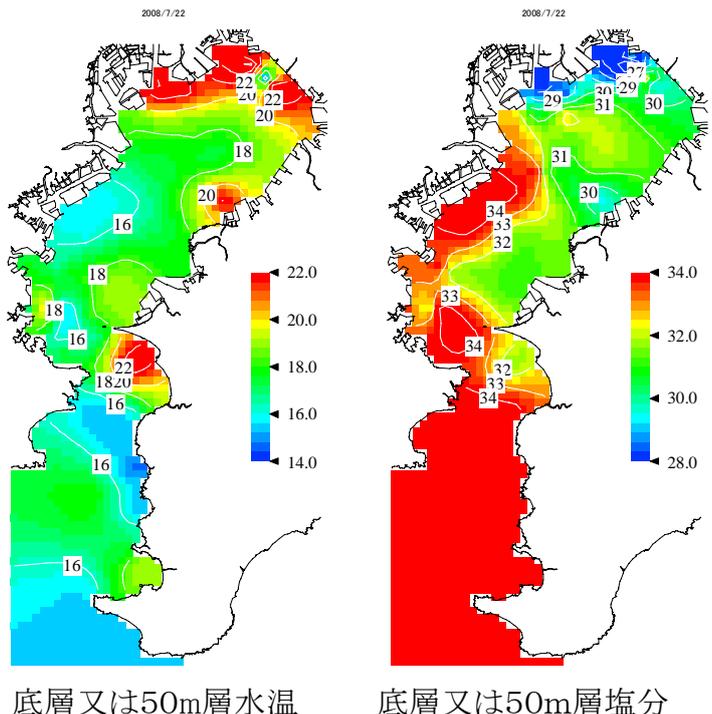
表層塩分



水温

塩分

密度



底層又は50m層水温

底層又は50m層塩分

図2 内湾の鉛直分布

図1 東京湾の水温・塩分分布

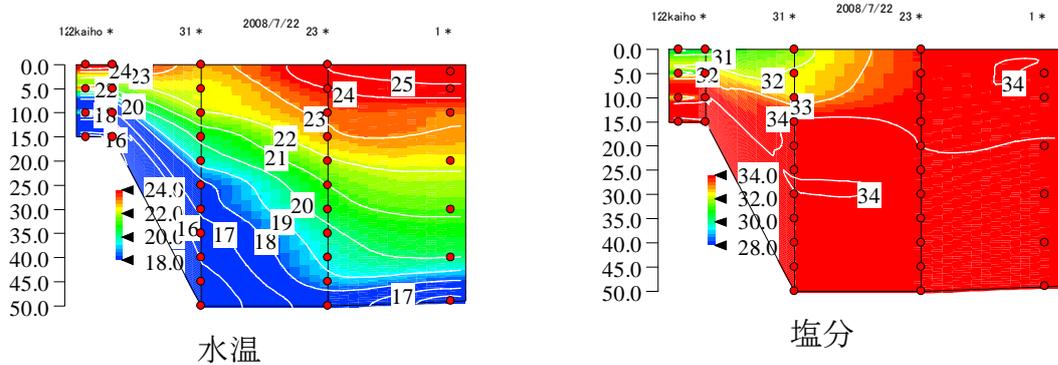


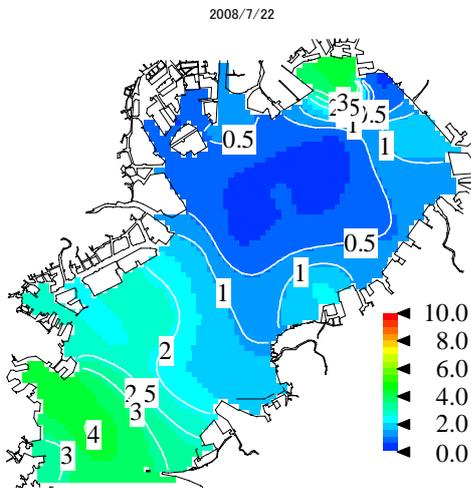
図3 内房の鉛直分布

赤潮の状況(図4、表1)

湾奥から内湾中央東部にかけて、赤潮でした。  
 赤潮優占種は、珪藻のスケルトネマ (*Skeletonema costatum*) とラフィド藻のヘテロシグマ アカシオ (*Heterosigma akashiwo*) でした。  
 植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は、内湾で12~112  $\mu\text{g/l}$  でした。  
 千葉県赤潮の目安は以下のとおりです。  
 色: オリーブ~褐色、酸素飽和度: 150%以上、透明度: 1.5m以下、pH: 8.5以上、クロロフィルa量: 50  $\mu\text{g/l}$

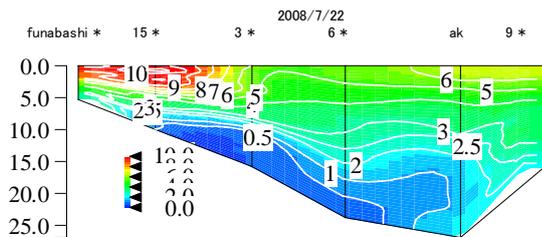


図4 透明度の分布(m)



貧酸素水塊の状況(図5、表1)

内湾底層のDO分布は、0~4  $\text{ml/l}$  であり、内湾の底層の貧酸素状態は拡大していました。今後、内湾での成層化の進展に伴い貧酸素水塊の形成が促進されると想定されますので、今後の情報に注意してください。



千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5  $\text{ml/l}$  (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

図5 内湾のDO (ml/L)  
 (上: 底層分布、下: 鉛直分布)

### 栄養塩類(図6、表1)

表層の溶存無機態窒素(DIN)は内湾5~140  $\mu\text{g/l}$ , 内房5~13  $\mu\text{g/l}$ , リン酸態リン( $\text{PO}_4\text{-P}$ )は内湾1~34  $\mu\text{g/l}$ , 内房3  $\mu\text{g/l}$ 以下でした。

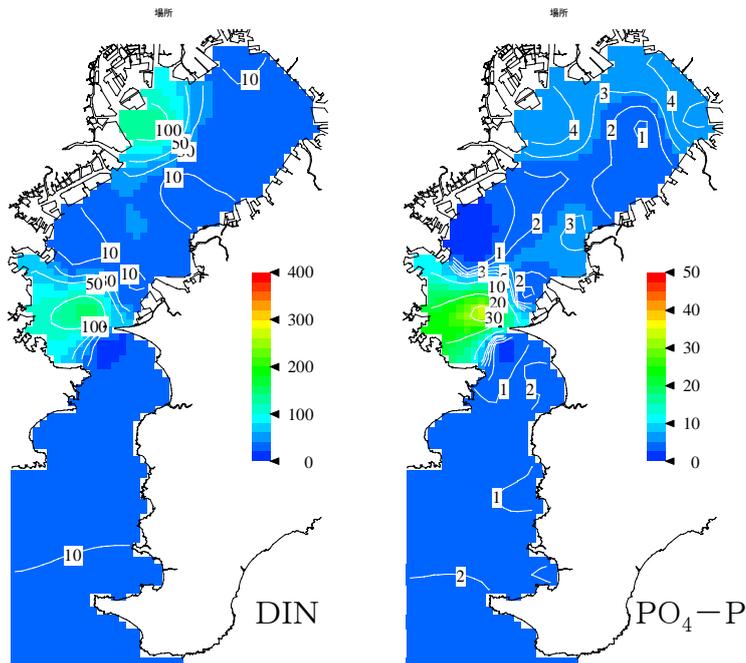


図6 表層の栄養塩分布 ( $\mu\text{g/L}$ )

表1 主な調査点の水質調査結果

### 黒潮の動き(図7)

黒潮は、N33度E133度付近で南下し八丈島を迂回してE141度線をややS字状に北上し、房総半島に接岸して北東に流れています。

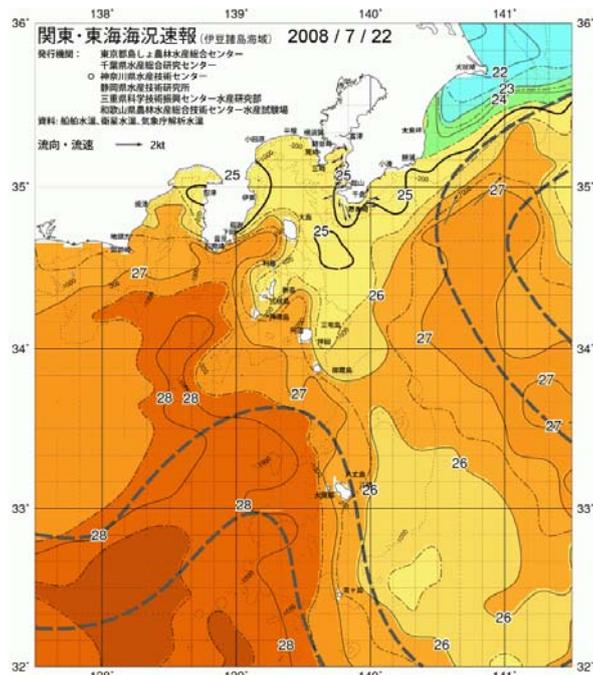


図7 黒潮の動き(7月22日)

調査年月日：平成20年7月22日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO ( $\text{ml/L}$ )	溶存無機 態窒素 ( $\mu\text{g/l}$ )	リン酸 態リン ( $\mu\text{g/l}$ )	アンモニア 態窒素 ( $\mu\text{g/l}$ )	クロロフィ ルa量 ( $\mu\text{g/l}$ )
内湾海域	船橋	0.8	28.9	23.17	3.0	5	4	4	80.7
	st. 15	0.9	28.7	23.25	0.2	12	3	8	112.2
	st. 3	1.9	27.8	25.20	0.0	23	3	18	12.9
	st. 6	1.8	27.4	25.21	0.1	15	2	9	16.8
	st. 9	1.9	26.5	26.37	1.7	11	3	9	20.4
	盤洲Cブイ	1.3	28.5	25.35	1.7	8	1	5	20.3
	st. 8 (盤洲Aブイ)	1.2	26.8	26.56	1.1	15	3	10	29.5
	富津ベタ	2.0	25.6	28.34	2.7	19	2	13	16.4
内房海域	第2海ほ下	3.5	24.6	30.56		5	3	5	12.8
	st. 31	3.8	22.7	31.57		5	1	4	
	st. 23	10.0	25.1	33.80		8	1	6	0.6
	st. 1	10.5	25.6	欠測		11	2	9	1.2
	st. 10 (下洲沖)	2.5	24.1	30.67		9	2	7	
	st. 12 (湊沖)	2.5	欠測	欠測		5	2	4	
	st. 22 (保田沖)	4.5	24.2	欠測		7	1	6	
	st. 24 (富浦沖)	9.5	25.1	欠測		7	1	6	
st. 26 (館山湾内)	10.5	24.5	欠測		13	1	11		

\* 観測日遅延のため平年値は掲載せず ( ) : 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去8年分)  
 ※ 透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。